



HANAMIZUKI 花みずき

福岡県立筑豊高等学校
PTA

直方市大字頓野4019-2
TEL: 0949-26-0324
FAX: 0949-26-0847

URL: <http://chikuh.fku.ed.jp>

卒業生・花向けの言葉

PTA会長 川口 修



卒業生の皆さん並びに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。卒業生の皆さんにおかれましては、コロナで始まりコロナで終わった一年となり今までに味わった事がない学校生活を送られたことと思います。

これに関しては、保護者の皆様も同様にしていいか分からない中、毎日が日々変化していく状況で感染を免れるように努めてこられたのではないかと思います。毎年行われていた学校行事もほとんどが中止となり、思い出作りもほんの少し出来たかな位ではないでしょうか？私たち保護

者も皆さんにしてあげることが出来ずに申し訳ない気持ちでいっぱいではありますが、今回皆さんが無事に卒業して行くことが嬉しく思います。今回このような試験を耐え抜いて卒業される皆さんは忍耐強くなられていると思います。これからの人生でいろんな困難に遭遇することと思えますが、今回の事を思い出して4月からの新生活に活かして突き進んでいってください。改めて、卒業生の保護者の皆様にはこれまでPTA活動にご理解とご協力頂き誠にありがとうございます。最後にありますが、校長先生を始め諸先生方におかれましては日頃からのご指導があり、生徒達もここまで成長することができたと思います。保護者を代表しまして熱くお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

「卒業に際して」

校長 森本 茂



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様には本日までお子様を支えられ、こうして晴れの日を迎えられましたことをお祝い申し上げます。

まずは生徒諸君へ。出会いがあれば別れがあるという事は世の常です。寂しさは拭いきれませんが、皆さんの晴れの門出をともに祝いたいと思います。

この1年間を振り返るとき、新型コロナウイルス感染症の影響を避けては語れません。いろいろと制限される中でも前向きに取り組んだ皆さんの姿勢を忘れません。困難に直面するときどう対応するか、どう今を捉え、次に向かうかの姿勢が大切です。皆さんなら大丈夫です。この筑豊高校で学んだ3年間の経験を自信として次の新しいステージに向かってください。人生は常に順風満帆とはいきません。よいことがあれば悪いこと

もある。悪いことがあれば次はよいことがある。禍福はあざなえる縄のごとし。しかし、困難は自分を成長させるために訪れるもの。一人で解決できないときは他の人の力を借りながら乗り越えてほしい。そして、今後は同窓生として学校を支えていただきたいと思っています。時々遊びに来て後輩たちへの温かい励ましをお願いします。次に、保護者の皆様へ。これまでのPTA活動へのご協力に感謝申し上げます。皆様のご理解とご協力があったからこそ学校の教育活動は成立します。3年間のご支援ありがとうございました。今後は筑豊高校PTA活動がますます充実するよう先輩のお立場からご助言を賜ることができれば幸いです。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための休校時の対応等ではご心配をおかけしました。今後対策が進み「前はこんなことがあったね」と笑って振り返ることが出来る時が早く来ることを皆様とともに願いたいと思います。最後に卒業生と保護者の皆様の今後ますますのご清祥を祈念し挨拶いたします。

PTA活動を振り返って

「8時夕ヨ！朝の挨拶運動！」

健全育成委員長 野上 真規子

今年度、健全育成委員長をさせて頂きました。健全育成委員会の行事の一つとして「朝の挨拶運動」があります。月に一回(年七回)朝八時から先生方や生徒会の皆さんと一緒に、生徒さん一人一人に声をかけています。元氣よく挨拶してくれたり恥ずかしそうにしたりと様々な反応も見られて、私たちは「ほっこり」しています。

健全育成委員会の方だけでなく、子供さんの送迎の際に少しの時間でも参加していただければと思います。是非お待ちしております。

広報委員長 高木 昌子

卒業生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。広報委員会の主な活動はPTA新聞「花みずき」の発行です。今年度はほとんどの行事がなくなり、とても残念でした。3年間、PTA活動させて頂き、ありがとうございました。卒業生の皆さん、今後も活躍されますように祈念いたします。

総務委員長 宗像 久美子

3年生並びに3年生保護者の皆様卒業おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症防止のため日常生活が一変し体育大会や文化祭が中止になり最終学年としての成果を發揮する場面が減ってしまいました。悔しい思いや残念な思いをしてこられたと思います。その中で自分たちが何をどうすればいいのか考え行動されたことは、この先の人生できっと役に立つと思います。卒業生の皆さんの今後の活躍を祈願いたします。今年度総務委員会としての活動は同じく新型コロナウイルスの影響により、花植えのみとなりましたが皆様のご協力により楽しく活動することができました。ありがとうございました。来年度は通常の活動ができることを願っています。

3年生PTAの皆さん

- 副会長 百合川 奈美
- 総務委員会 宗像 久美子 原田 純子
- 泉 由果 山口 真美
- 岡部 真紀子
- 広報委員会 高木 昌子 入江 雅代
- 小松 小百合
- 健全育成委員会 上野 和枝 金山美智子



ご協力ありがとうございました。

課題研究生徒実践発表会

商業科

私は課題研究で調査研究の「地域創生」を希望し、直方市について調査しました。そこで私は直方市の少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少していることを知りました。

この現状をどうにかできないかをみんなで話し合いを行い、「地域活性化班」と「観光ガイド班」に分かれて活動を行うことにしました。

地域活性化班は直方市の課題を見つめ、実際に直方市役所商工観光課へ訪問し、担当者と話し合いを行い、内容をまとめました。観光ガイド班は直方市で活躍されている直方観光ガイドの方からご指導をいただきました。実際に直方市内の名所に向き、教えていただきました。

私は観光ガイド班に所属し、名所や歴史を調べたりして、若い方が参加しやすい直方観光コースを作ることになりました。お客様に分かりやすく説明できるようにリーフレットを作成したり、台本の作成を行いました。台本作りの作業がとても大変で、インターネットで調べた難しい言葉を取り除き、分かりやすいものに作り直すといった作業がとても大変でした。一人ひとり役割分担をし、課題研究生徒実践発表会に向けて取り組んできました。発表会のスライド作成も見やすいように工夫をしました。放課後遅くまで、休日も学校に登校して発表の練習をしました。私たちが行ってきた調査研究の活動を、皆さんにできるだけわかりやすく説明ができるよう班全員で協力し、意見を出し合いながら完成させ、満足いく発表ができました。

今年はコロナ禍の中、実際に外に出て観光ガイドはできませんでしたが、来年度にぜひ繋いでいってほしいと思います。

総合ビジネス科
3年1組 吉柳 璃玖 (直方第三中学校出身)



12月11日(金)体育館にて「課題研究生徒実践発表会」が開催されました。課題研究とは一、二年次までの商業、家庭の専門教科の学習を基礎とし、三年生が各自テーマを決め、一年かけて研究を進めていく科目です。三年生にとつては他講座の研究内容を、一、二年生にとつては三年次に選択する講座の内容を知り、今後の専門教科の学習へ意欲がわくような充実した内容の発表が本年度も行われました。

私は課題研究で「産業現場実習」を選びました。この分野では、校外活動をメインに販売実習などを通して接客や商品の流通について学ぶことができます。ふるまちな商店街での五日市販売実習やびつくり市での販売実習・冬季販売、ちくぜんのおがた高取焼大茶会など様々な行事がありました。今年度は新型コロナウイルスの影響で例年通り活動することができませんでしたが、その中で制限はあるものの、唯一五日市販売実習を四回行うことができました。

最初は何をしたらよいかわからず緊張し、コロナ禍ということもあり、お客さまが来てくたさるか不安でした。しかし、当日はたくさんのお客さまが来られました。私達に対する温かい声援や先生方のサポートもあり、無事に商品を販売することができました。販売させるための工夫を安永青果やローソンのオーナーを務めていらっしゃる谷口さんから教わり活かすことができました。例えば野菜を販売する際に玉ねぎ単体だけではなく、玉ねぎの隣に人参やじゃがいもを置くことでカレーの材料を連想させ玉ねぎも一緒に売れやすくなるという工夫を活用しました。安永青果の方や谷口さんは他とは違った独自の工夫をされていて本当に勉強になりました。今まで「商売」というものを買い手側の目線ではかわりませんでした。売の難しさを知ることができました。当日まで準備やリハールを何度も大変でした。講座のメンバーの手助けもあり、見る人がわかりやすく見飽きないようなよりよいスライドを作り上げることができました。後輩のみなさんには地域の方々に感謝の気持ちを持ち頑張ってくださいと思います。

ビジネス情報科
3年3組 河村 駿輝 (直方第二中学校出身)



生活デザイン科

私は二年生の時に先輩方の課題研究生徒実践発表会を聞き、今まで知らなかった様々な災害や防災グッズなどについて詳しく知ることができました。その時、私も災害が多くなっている今、防災についても詳しく知りたいたいと思い、調査研究講座を選びました。

私はこの一年間調査研究講座のリーダーとして、取り組んできました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のために授業の始まりが例年より遅く、どうなるか不安でした。さらに、私はこれまでリーダーとして何かに取り組むという経験がなく、どのように活動したらよいか分からずとても不安でしたが、メンバー全員の支えにより協力して研究することができました。

防災に関することについて、三つの内容に分けて研究しました。一つ目は親子防災、二つ目は防災食、三つ目は防災環境についてです。私は親子防災を担当しました。子どもについての防災を考えたうえで、子どもの目線になって考えてみたり、親子のための防災ノートを作ったりしました。活動の中で子どもにとっての防災の大切さについて詳しく知ることができました。

今年度は課題研究の期間が短く、後輩の皆さんには防災に関する研究のバトンを受け継ぎ、校内だけでなく地域へも防災について発信して頂きたいと願っています。

生活デザイン科
3年4組 宮村 彩香 (直方第二中学校出身)



新生徒会長

北里 紀織 (木屋瀬中学校出身)

三年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。私は生徒会執行委員となり、先輩方も活動できたことを誇りに思います。大変なことや、苦しいこともありました。しかし、楽しいこともたくさんあると思えるのは、間違いない先輩方がいてくださったおかげです。真剣な会話、何気ない会話、全てが私の大切な宝物となりました。また、私自身生徒会活動を通じて、前よりも人前に立つことへの苦手意識がなくなりました。まだ、皆さんの前でお話させていただいたことも少なく、慣れないことも多いですが、自分の足りないところも含め、これから新生徒会のメンバーと一緒に、日々成長したいと思っています。そして先輩方が繋いで来て下さった伝統、意思をしっかりと胸に刻み、これからの生徒会活動に励んでいきたいと思っています。最後になりますが、3年生の先輩方、本当にありがとうございました。私たちの頑張り、期待していただきたいと思います。

旧生徒会長

下田 宇宙 (直方第三中学校出身)

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によって学校行事などが少ない年となりました。しかし、私達は、あきらめることなく自分達ができることを見つけ、生徒会活動に励んできました。その中で、出来るからやるものではなく、「今、こんな時だからこそ出来る事」というものを、皆で考案して取り組んできました。そして、最後にはクラスマッチという今年最高の行事で、任期を終えることができました。生徒会執行委員としての3年間で、一番成長できた年だと感じました。私が1年間生徒会長でいられたのは、生徒会執行委員の皆さんが支えてくれたらだと思っています。また、クラスメイトをはじめとする皆さんの生徒の皆と、支え助まってくれた、先生方、保護者の皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。そして、新生徒会執行委員の皆さんには、今年の私たちの悔しさを活かし、来年度はもっと生徒全体が一つになれる学校を作りたいと思っています。



生活デザイン科
3年4組 貞光 一華 (直方第三中学校出身)